

「第14回介護保険推進全国サミット in なんと」の開催について

◆サミット開催の主旨

平成12年に介護保険制度が施行され、我が国の高齢者福祉は、行政がサービスを定める仕組みから、利用者自らが様々なサービスの中から良いものを選ぶ仕組みへと転換し、また、住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりの大切さが認識されるようになってきました。

このような状況を背景に、介護保険制度の諸問題について、事例発表や討議をもとに、今後のよりよい制度の在り方について考える機会として、平成12年から「介護保険推進全国サミット」が、毎年、開催されています。

平成25年の全国サミットは、南砺市で開催することになり、平成24年10月4日～5日に滋賀県東近江市で開催された第13回サミットの閉会式において、次回開催地として、南砺市への引継ぎが行われました。



東近江市長から「転ばぬ先の杖」を引き継ぎ

◆実施主体

- ・主催 南砺市
- ・主管 第14回介護保険推進全国サミット in なんと実行委員会
- ・後援 厚生労働省、富山県他(予定)

◆開催日時 平成25年10月17日(木)・18日(金)

◆会場 南砺市福野体育館及び福野文化創造センター

◆開催規模 1,000人～1,200人の予定

◆事業内容及び概要

- ・基調講演、分科会(3分科会)、参加者交流会、パネルディスカッション、特別講演、パネル展示など
- ・参加者は、全国の自治体介護保険・高齢者福祉担当者、地域包括支援センター関係者、介護サービス事業者、福祉団体関係者、研究者、サービス利用者、一般住民など

◆事業の効果・活用

- ・講演、パネルディスカッション、分科会の実施により、参加者の意識啓発・資質の向上を図る。
- ・サミット開催後、大会記録集を作成し、参加者等に配布することで先進事例等の普及・拡大を図る。

◆実施体制

- ・実行委員会(市内・県内関係団体等で組織)
- ・事務局 南砺市 地域包括医療ケア局 地域包括課

◆介護保険推進全国サミットの歴史

大会名	開催地	メインテーマ
第1回	鳥取県西伯町 (現南部町)	介護保険で見えてきたもの ～地域ケアへの展望～
第2回	石川県加賀市	地域ケアの構築
第3回	埼玉県東松山市	地域ケアの創造 -老いてもいきいきと暮らせるまちづくりを目指して-
第4回	福岡県大牟田市	進化する介護保険 -支えう地域づくりと制度のさらなる発展を目指して-
第5回	山形県尾花沢市	地域主体による介護保険制度の見直し -個人の尊厳を重視し、地域で支えるケアシステムの確立に向けて-
第6回	岩手県遠野市	自立支援と尊厳の重視 -家族が元気 地域が元気 活力ある地域社会の創造をめざして-
第7回	北海道本別町	地域住民と共同で進める -認知症を支えるまちづくり-
第8回	新潟県妙高市	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり
第9回	茨城県東海村	出会い・ふれあい・支えあいを目指した新しいサービスの創造
第10回	福岡県北九州市	介護保険、今日とこれから ～高齢者がいきいきとその人らしく、安心して暮らせるまちをめざして～
第11回	愛知県東浦町	介護保険制度改正に向けて ～地域包括ケアシステムでつくる健康長寿社会の実現～
第12回	大分県臼杵市	これからの介護保険を考える ～東日本大震災を乗り越えて～
第13回	滋賀県東近江市	人と地域の絆の中で、地域包括ケアを ～誰もが安心して看取られる顔の見える地域を創る～

◆第13回（平成24年）東近江サミットの内容

区 分	内 容
基調講演	地域包括ケアとは何か 公益財団法人さわやか福祉財団理事長 堀田 力
第1分科会	ターミナルケア ～居宅の看取り・施設の看取り～
第2分科会	認知症支援 ～適切なアセスメントに基づいたケアプランへ～
第3分科会	定期巡回・随時対応サービス ～訪問介護のパラダイム転換～
開催市からのメッセージ	啓発劇 「もしもあなたが脳卒中で倒れたら」
パネルディスカッション	地域包括ケアをどう創るか ～わがまちの地域包括ケア～
特別講演	医療福祉・東近江圏域地域包括ケアの目指すもの 三方よし研究会世話人代表 小鳥 輝男 東近江市永源寺診療所長 花戸 貴司 写真家が見た在宅看取りの現場から フォトジャーナリスト 國森 康弘